

未来を担う子供たちに夢の教育を

須田 勝 議員

特別支援教育について

質問 超過保護な特別支援は必要か。将来その子のためになるのか。ほかの児童の迷惑を考えれば、特殊学級や関連するほかの学校があるはず。中止する考えは。

答弁 一人一人の子供たちにとって、どのような教育措置がその子の力を最大限

に引き出し、伸ばせるか、ということ等を常に考えて対応していきたい。

学校給食の廃止を

質問 戦後の食糧不足、栄養不足を補うため導入された給食。多くの残飯廃棄状態。給食費の未納、滞納。公平性を考え、愛する子供に親の真心弁当の復活を。

登下校と服装について

答弁 これからの学校給食は、食育の推進が求められており、子供の弁当持参は、家庭の負担も大きい。現在の学校給食は重要であり、廃止は考えていません。

質問 安全面重視、安全確保は良いが親の車送迎の禁止を。また、中学生の制服で身なりの指導を。着ない、着せない制服なら自由服に。

答弁 地域や保護者の協力のもと、原則徒歩での通学を指導していきたい。制服

についても、時と場に応じた着用について指導していきたい。

小学校の統合について

質問 児童、生徒の減少により希望の部活もできない状態。統合により夢を持てる教育のため、思いきった統合計画の考えは。

答弁 小・中学校の統廃合を含む適正配置については、早急に着手しなければなら

地域住民の意向等を調査し、慎重に検討していきます。

質問 指定管理者制度の目的はサービス向上と経費節減にあるが、今後の対応は。

答弁 現在の指定管理施設のほとんどが、平成23年度に更新期を迎えることから、円滑に更新するため、施設ごとに導入状況を把握し、課題の洗い出しを行いながら早期の取り組みを進め、直営施設においても制度の導入を随時検討していく。

子供の医療費無料化と

質問 妊婦健診公費助成拡大を15歳までの医療費と

妊婦健診を無料化すべきと思うがどうか。

答弁 入院は中学校卒業まで拡大し、通院は拡大の方

質問 今春行われた学力テストを本市としてはどう分析しているか。

答弁 県や全国の結果と同様、知識に関しての定着はよいですが、活用課題があるので、改善を図りたい。



本庁舎の市民課窓口

市民にやさしい窓口サービスを

安力川信之 議員

総合窓口導入を

質問 一つの窓口で様々な申請などができる総合窓口を設置すべきと思うがどうか。また、待ち時間短縮のために番号発券機を導入すべき。

答弁 窓口業務の実態を把握し、業務の見直しや組織のあり方の検討の中で研究

市民会館など

施設の運用を効率的に



通学する中学生

一般質問



企業誘致が求められる有馬企業団地

障害者施策と総合病院について

伊藤 俊彦 議員

質問 障害者に関する国、県の制度改正により、施設の運営委託料が減額傾向にあるが市の考え方は。

答弁 地域活動支援センターは国、県補助が減額される中、各施設の現状維持ができるよう支援しています。

質問 障害福祉担当課の人事異動が頻繁で、市民が迷

惑しているがどう考えるか。

答弁 人事交流を進めているところですが、業務に支障が出ないよう配慮したい。

質問 精神障害者の公的支援は遅れている。施設運営委託料も大幅に減額されて

いるがこの件については。

答弁 新法の施行で、県から市に所管替えされ、市で

は県内各市の状況を参考に各作業所と協議しています。

質問 病院あり方検討委員会、その後の経過と改革は。

答弁 委員会の検討事項の報告は年明けを目途に取りまとめたい。検討結果を踏まえ、予算等に反映したい。

質問 環境整備としてパート医師の採用は。また医療秘書の採用は。

答弁 現在当直の医師を月3日採用している。環境整備については検討したい。

質問 診療科再編にも影響

する民間病院との連携は。

答弁 患者の症例に応じて、紹介など医療機関同士の連携を図って対応している。

質問 市内開業医の活用はどう考えるか。

答弁 一部の診療科では、医師会や民間病院から医師の派遣を受けている。今後

も協力関係を強化したい。

質問 地方公営企業法の全部適用はどう考えるか。

答弁 全部適用もいろいろな問題があるので、慎重に検討したい。

自主財源確保と企業誘致について

吉田 利治 議員

質問 依存財源減少対策の一環として、高崎駅まで1日30本往復しているJRの「湘南新宿ライン」が渋川

駅に乗り入れ可能になれば、自主財源の大きな一つとなると思われるがいかん。

答弁 経済効果も考えられるため、観光協会、商工会及び渋川吾妻地域在来線活

性化協議会など、ほかの団体とも連携を図りながらJRへの要望を検討したい。

質問 厳しい財政から少しでも脱却前進するために、

県・他市町村が進めている企業誘致。今後の自主財源

確保のためにも最優先課題として、即対応していくべきと考えるがいかん。

とり調査研究を進めます。

北橘地域の諸問題

質問 前回質問した幼稚園建設、中学校旧体育館跡地利用、図書館拡張、支所再利用等、その後の推移は。

答弁 北橘幼稚園は、20年1月着工、21年3月20日完成の計画です。北橘中学校体育館跡地は、校庭全体の

整備を計画しています。支所建物は構造上図書館には不適で、地域の特色を生かした利用方法を検討中です。

質問 第2グラウンド設置事業は当面先送り、総合計画素案では前期及び後期

での対応のようだが、いかなる計画か。即地権者に現況説明が必要ではないか。

答弁 土地所有者から同意調印をいただいていますので、市の計画方針が決まり

次第早い時期に、地権者説明会を行う予定です。



渋川総合病院

一般質問

特定健診・特定保健指導と バイオマスタウン構想について

金子 渡 議員

特定健診と特定保健指導は

質問 20年度から市町村の

基本健診が大幅に変更され、
特定健診の受診率、保健指
導の実施率が低いと国から

ペナルティーが課せられる
ようになる。個別健診と集
団健診の選択方式導入等、
受診率向上への取り組みは。

答弁 健診実施期間の拡大、

がん検診との同時実施、健
診方法での市民の選択肢の
拡大を検討しています。

質問 特定保健指導の進め
方は。

答弁 特定健診は健診機関
に任せ、市の保健師等によ
る直営を主として実施して
いきます。

質問 生活機能評価はどの

ように進めていくのか。

答弁 国保特定健診及び後
期高齢者の健診と同時実施
する方向で検討しています。

質問 20年度の行政措置予
防接種拡充の方針は。

答弁 渋川地区医師会管内
の市町村で統一し、前橋市
並みに拡充して実施します。

質問 バイオマスとツーリズム

答弁 バイオマスタウンで
地域の活性化を図る考えは。

答弁 バイオマスの活用は
地域の理解が必要。すぐに
は無理だが、自然を生かし

た構想を進めていきたい。

質問 文科省や農水省等が
進める小学生の長期宿泊体
験型グリーンツーリズムの
受け入れに取り組む考えは。

答弁 受け入れ体制等の課
題があり、今後関係機関等
と連携し研究していきます。

質問 県企業局・JRと協
力して建設する小水力発電
施設等を生かしてエコツー
リズムに取り組む考えは。

答弁 多くの課題解決に向
け今後研究し、一定の整理
がされた後に取り組みたい。

非農地を農地に戻した 土地の課税の是正を

真下 裕 議員

質問 農地転用許可を受け
転用目的どおり使用し、地
目を非農地（宅地、雑種地
等）に変更登記した土地に
ついて農地法の制約は。

答弁 転用目的どおり使用
し、土地地目変更登記後は
農地法の制約はありません。

質問 一般的に農地と宅地
との税額差は。

答弁 農地法第3条農地取
得の下限面積要件に満たな
いときは、原則認めません。

質問 農地に戻した土地を

答弁 非住宅宅地と比較し、
田で約100倍、畑で約2
40倍の税額となります。

質問 非農地を再度農地に
地目変更登記した土地の農
地法の制約の発生は。

答弁 農地法第3条農地取
得の下限面積要件に満たな
いときは、原則認めません。

質問 農地に戻した土地を

答弁 農地法第3条農地取
得の下限面積要件に満たな
いときは、原則認めません。

答弁 固定資産税評価基準
により評価しており、この
ようなケースについては、
現在検討されています。

質問 農地に戻した土地は、
一定条件、区域、状況、面
積等を満たせば農地として
課税できる内規、要綱を定
める必要があると思うが。

答弁 課税は全国平等な取
り扱いとなっており、本市
独自で定めることは難しい
が、一定の手法については
今後研究したい。

質問 「マロニエ通り」は、
樹種名（トチノキ）を表す
と思うが、一部センダンの
木が植栽されている。セン
ダンの木を生かした標識の
是正は。

答弁 センダンが植栽され
ている区間は、今後、検討
したい。



マロニエ通り



がん検診車

一般質問



みんなで食べる給食はおいしいよ

上信自動車道渋川西バイパス・ 金井バイパスの建設について

板倉 和男 議員

質問 上信自動車道の建設計画はどのように整備が進んでいるのか。渋川西バイパス・金井バイパスが整備区間に指定されているが、国土交通省と県は、整備ルート概要説明をいつごろ地元にするのか。

答弁 渋川西バイパス・金井バイパスとも、現在、国土交通省と県は、整備ルート概要説明をいつごろ地元にするのか。

質問 上越新幹線建設工事

で大きな妨げとなった中山トンネルの大量のわき水が

わき水発電所計画

と県で整備ルートの検討が行われていると聞いていますが、渋川市への協議はまだありません。地元の皆様への説明はその後になると思われます。

吾妻川に放流されている。当時の国鉄側と協議し、地元自治体が使用できるとの協定が結ばれている。この水を利用した市のマイクロ水力発電所建設計画はどのように進んでいるのか。

答弁 上越新幹線中山トンネルの湧水の「位置エネルギー」によるマイクロ水力発電施設の建設については、県企業局の協力による現地調査結果を受けて、現在、事業化に向けて検討しているところだ。

吾妻川に放流されている。当時の国鉄側と協議し、地元自治体が使用できるとの協定が結ばれている。この水を利用した市のマイクロ水力発電所建設計画はどのように進んでいるのか。

高齢者いじめの後期高齢者 医療制度の中止・見直しを

加藤 幸子 議員

質問 75歳以上の高齢者と65歳以上の障害者を一括した新医療制度では、保険料が平均年8万円。1年間滞納すれば資格証明書の発行が義務付けられる。市の裁量で全員に保険証の発行を。また、高齢者を苦しめる保険制度は中止・撤回を国に求めるべきと思うが市長の

答弁 資格証明書は納付相談を通じて発行に至らないように努めます。後期高齢者医療制度は国民皆保険堅持のため法改正されたもので、国に中止撤回を求めることは困難と判断します。

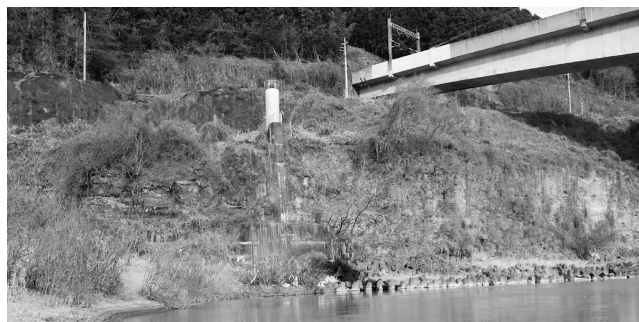
質問 市の学校給食にはセンター方式と自校方式がある。自校方式の学校給食は北橘・伊香保地域である。自校方式の給食は地場産の農産物を取り入れた「食教育」の実践が行いやすく、できたての給食が食べられる。自校方式存続の考えは。また、学校給食の目的も「栄養補給」から「食育」へと変わってきました。今後調理場をどのようにしていくかについて、学校給食調理

場再編整備調査検討会で検討を行っています。

質問 厚労省は妊婦健診の公費負担は14回が望ましいと市に通知を出した。市でも14回の無料の実施を。県は子供の医療費無料化を入院は中学校卒業までとした。市では入院・通院とも中学校卒業まで無料の実施を。

答弁 妊婦無料健診は拡大の方向で検討します。子供の医療費は入院を中学校卒業までとし、通院は拡大する方向で検討します。

答弁 この地域は、下水道幹線より低いため中継ポンプ場や圧送管を造らなければ汚水を流せません。国道の県への管理移管以降から認可区域内の工事をはじめ区域の拡大も検討します。



中山トンネルの湧水